

# Unity Connection Jetty ログがルートパーティションを満杯にする

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[無効なログイン](#)

[ディスク領域のクリア](#)

[次のステップ](#)

## 概要

このドキュメントでは、Unity ConnectionのJettyログがルートパーティションを満たすCisco Technical Assistance Center(TAC)の最近の注意点について説明します。Cisco Bug ID [CSCts98388](#)が問題にどのように対処しているかについて、[いくつか](#)の混乱がありました。このドキュメントの目的は、問題に対処するために必要な手順を説明することです。また、次のステップについても説明します。

## 前提条件

### 要件

Cisco Unity Connectionバージョン8.5.1、8.6.2、および9.xに関する知識があることが推奨されます。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Unity Connectionバージョン8.5.1、8.6.2、および9.xに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

# 問題

ログまたはReal-Time Monitoring Tool(RTMT)により、ルートパーティションのUnity Connectionディスク領域が不足しているという通知が受信されることがあります。場合によっては、Jettyログが大量のスペースを消費することがあります。

この問題に対処するために、[Cisco Bug ID CSCts98388](#)が登録されています。ただし、パッチが適用されたバージョンのソフトウェアが問題にどのように対処するかについては、混乱が生じています。「ソリューション」セクションでは、問題の解決方法について説明します。

## 解決方法

### 無効なロギング

ロギングを無効にするには、次の手順を実行します。

1. このパッチが適用されたバージョンのUnity Connectionソフトウェアを不具合します。このバージョンがロードされると、以前は使用できなかったコマンドが使用可能になります。

注：パッチが適用されたバージョンを単独でロードしても、問題が解決しないことにご注意ください。

要求ログのコマンドを次に示します。

```
set cuc jetty requestlog enable
set cuc jetty requestlog disable
```

StdErrログのコマンドを次に示します。

```
set cuc jetty stderrlog enable
set cuc jetty stderrlog disable
```

Stdout Logのコマンドを次に示します。

```
set cuc jetty stdoutlog enable
set cuc jetty stdoutlog disable
```

2. ログがドライブがいっぱいになることを防ぐために、パブリッシャとサブスクライバの両方で次のコマンドを入力します。

```
set cuc jetty requestlog disable

set cuc jetty stderrlog disable

set cuc jetty stdoutlog disable
```

3. Jettyサービスを再起動して、コマンドを有効にします。サービスを再起動しないと、ログの書き込みと空き領域が増え続けます。

注：アップグレードが完了すると、Jettyログが再度有効になります。そのため、アップグレードが完了したら、ステップ2に示す3つのコマンドを入力して、ロギングを無効にし、Jettyサービスを再起動する必要があります。

## ディスク領域のクリア

ディスク領域をクリアするには、次の手順を実行します。

残念ながら、Stdout Logにはadmin経由でログを削除するコマンドしかありません。他の2つのログはroot経由で削除する必要があります。このセクションでは、これらのコマンドを認識するためのコマンドについて説明します。このドキュメントは、TACケースをオープンする際に参照できます。

### 要求ログ

ログのパスは次のとおりです。/usr/local/jetty/logs/\*.request.log。

root経由でログを削除するコマンドを次に示します。

```
rm -fv /usr/local/jetty/logs/2014*.log
```

### Stderrログ

ログのパスは次のとおりです。/var/log/active/jetty/\*.stderrout.log。

root経由でログを削除するコマンドを次に示します。

このコマンドは、5日以上経過したファイルを削除します。

```
rm -fv /var/log/active/jetty/2014*.log
```

### Stdoutログ

ログのパスは次のとおりです。/var/log/active/jetty/\*.stdout.log。

ルートから削除するコマンドを次に示します。

```
rm -fv /var/log/active/jetty/2014*.log
```

adminを使用して削除するコマンドを次に示します。

```
file delete activelog /jetty/2014*.log noconfirm
```

## 次のステップ

ビジネスユニットは、このロギングがデフォルトで無効になっているソフトウェアの拡張機能を調査します。

Cisco Bug ID [CSCup13856](#)は、次の点に対処するために提起されています。

- デイセーブルにするには、Jettyログトレースのデフォルト値を設定します。
- CLIのenable/disableの設定は、アップグレード後も維持されます。

現時点では、具体的な実施日はありません。